

津松阪港

三重県県土整備部港湾・海岸課

〒514-8570 津市広明町13番地

☎059-224-2691

URL : <https://www.pref.mie.lg.jp/kowan/hp/>



津港区

1. 概況

津松阪港は昭和46年4月に旧津港と旧松阪港が一つとなって指定され、北は津市白塚町と同市栗真町屋町の境から、南は松阪市東黒部町と多気郡明和町に至る約30kmの海岸線に面する港湾区域61.5km²の重要港湾である。

旧津港は、古来「安濃津」と称し、日本三津の一つとして繁栄した。明の「武備志」にも登場し、広く中国にまで知られていたが、明応年間(1492～1500)の地震により港としての機能を失った。江戸時代(慶長13年)に藤堂高虎が藩主になると岩田川河口に外国船防備の港として新堀(現在の新堀地区)を建設した。明治41年7月より昭和2年4月の長年月にわたり南防波堤220m、北防波堤229m、物揚場70m、航路船溜の浚渫等を施して現在に近い姿となった。昭和42年6月に日本鋼管津造船所及び関連企業の立地をみて工業港としての姿が付加された。また、海洋性レクリエーション振興のため、昭和46年4月に財団法人伊勢湾海洋スポーツセンター(津ヨットハーバー)が発足し、約500艇の船艇を収容できる県下で唯一の、県有の公営マリナーとして整備された。

現在は、中部国際空港セントレアを結ぶアクセス船が運航され、国内外から三重県を訪れる人々の玄関口となっている。

旧松阪港はかつて大口港といわれ、旧幕時代には紀州藩米蔵の所在地であるとともに、参勤交代の通路にあっていたため、古来より船の往来が盛んで、伊勢志摩沿岸はもちろん、東は尾張三河から遠くは江戸へ、西は紀北、紀南の沿岸へと伸び、各地に諸物資が盛んに集積、搬出され内貿港として栄えた。その後、近代産業の発達と背後地帯の森林資源開発と港湾の必要の高まりに応じ大正9年から7カ年継続事業を第1期工事、昭和3年から3カ年事業を第2期工事として着手、昭和5年内務省指定港湾となり名称を松阪港と改め、昭和7



松阪港区

年、国庫事業として前工事が継続、東防波堤564m、西防波堤649m、港内防波堤240m、物揚場168m、護岸354mなどを完成した。さらに昭和18年から34年までの長年月の改修工事で岸壁、物揚場等が増築され、現在に近い姿となった。

最近の社会情勢の変化に対応するため、平成7年3月に港湾計画の改訂を行った後、平成11年2月にマリナー計画の変更、平成14年6月に小型船だまり計画の見直し、平成17年11月に海上アクセスの追加、平成23年2月に土地利用計画の見直し、平成31年3月に公共埠頭計画、旅客船埠頭計画、水域施設計画及び土地利用計画の見直しにかかる港湾計画の軽易な変更を行った。

現在ではガラス、ニッケルの原材料及びセメント等の取扱が多く物流拠点としての姿を形成している。

2. 港勢

入港船舶

種別	合計		30,000総トン以上		10,000総トン以上 30,000総トン未満		6,000総トン以上 10,000総トン未満	
	隻数	総トン数	隻数	総トン数	隻数	総トン数	隻数	総トン数
外航商船	57	360,532			4	44,626	29	268,295
内航商船	1,344	956,476						
自航	2,847	353,028						
その他	1,341	30,621						
合計	5,589	1,700,657			4	44,626	29	268,295

種別	3,000総トン以上 6,000総トン未満		1,000総トン以上 3,000総トン未満		500総トン以上 1,000総トン未満		5総トン以上 500総トン未満	
	隻数	総トン数	隻数	総トン数	隻数	総トン数	隻数	総トン数
外航商船	3	12,673	19	33,941			2	997
内航商船	84	373,024	18	32,185	265	204,109	977	347,158
自航							2,847	353,028
その他					22	12,600	1,319	18,021
合計	87	385,697	37	66,126	287	216,709	5,145	719,204

最大入港船舶のトン数 10,650総トン（喫水 5.27m）

海上出入貨物

項目	合計		農水産品		林産品		鉱産品		金属機械工業品	
	トン	%	トン	%	トン	%	トン	%	トン	%
輸出	4,000	100.0								
輸入	161,305	100.0			76,928	47.7	5,200	3.2	70,468	43.7
計	165,305	100.0			76,928	46.5	5,200	3.1	70,468	42.6
移出	80,523	100.0					55,990	69.5	1,883	2.3
移入	1,241,454	100.0			7,175	0.6	86,820	7.0	157,845	12.7
計	1,321,977	100.0			7,175	0.5	142,810	10.8	159,728	12.1
合計	1,487,282	100.0			84,103	5.7	148,010	10.0	230,196	15.5

項目	化学工業品		軽工業品		雑工業品		特殊品		分類不能のもの	
	トン	%	トン	%	トン	%	トン	%	トン	%
輸出	4,000	100.0								
輸入	8,709	5.4								
計	12,709	7.7								
移出	21,150	26.3					1,500	1.9		
移入	390,394	31.4					599,220	48.3		
計	411,544	31.1					600,720	45.4		
合計	424,253	28.5					600,720	40.4		

外貿コンテナ貨物取扱量

項目	フレートトン	TEU	
		実入り	空コン
輸出			
輸入			

乗降人員

	合計	乗込人員	上陸人員
外国航路			
内国航路	153,649	79,696	73,953
計	153,649	79,696	73,953

3. 港湾施設

区分 埠頭名	けい船施設					荷さばき施設					主な 取扱貨物
	バース名	前面水深 (m)	延長 (m)	最大 けい船 能力 (DWT)	船 席 数	荷役機械			上屋		
						機械名	揚力 (t)	基数	棟 数	使用 面積 (㎡)	
(公共-津港区)											
伊倉津埠頭	-5.5m岸壁	5.5	90	2,000	1						非金属鉱物 〃
	-4.5m岸壁	4.5	60	700	1						
贅崎浮き棧橋	贅崎浮き棧橋	3.0	40 ×2	-	2						
(私設-津港区)											
日本セメント(株)	日本セメント ドルフィン	8.0	170	6,000	1						セメント
ユニバーサル造船	J F E 〃	9.0	975	360,000	2						艀装用 鉄鋼、金属製品
		6.0	610	3,000	5						
菅場工業(株)	菅場工業岸壁	4.5	105	700	1						輸送機械
(公共-松阪地区)											
大口埠頭	-7.5m岸壁	7.5	397	5,000	3				1	1,375	セメント、非鉄金属 ガラス類等
中央埠頭	-7.5m岸壁	7.5	260	5,000	2				1	1,375	砂利、砂、石材、ガ ラス類、化学工業品
北岸壁	-7.5m岸壁 耐震(緊急)	7.5	130	5,000	1	{ニューマチック U(私) ジブC(私)}			1		化学工業品 非鉄金属鉱物等 重油
	-5.5m岸壁 耐震(緊急)	5.5	100	2,000	1		1.8 ~ 1.9	1			
	-5.5m岸壁	5.5	200	2,000	2						

保管施設		
区分	棟数	面積・容量
野積場	-	2,750㎡
	-	5,400㎡
普通倉庫	21	
1~3類倉庫	-	-
危険品倉庫	-	-
野積倉庫	-	-
貯蔵倉庫(サイロ)	31	(大口埠頭) セメント保管 サイロ 12,000t×2 8,000t×1 3,000t×1 2,500t×1 } 5基
		製油タンク (中央埠頭) 550kl×8 380kl×2 620kl×4 850kl×10 } 24基
		製油タンク (大口埠頭) (470×2)2基
冷蔵倉庫	-	-
水面倉庫(貯木場)	-	-

泊地		
区分	水深(m)	面積(㎡)
錨泊地 (津地区)	~4.0	89,400
	4.0~7.5	224,000
	7.5~9.0	356,000
(松坂地区)	~4.0	27,670
	4.0~7.5	7,800
	7.5~9.0	267,000
はしけ溜	-	-
木材投下泊地	-	-
危険物泊地	-	-

港湾関連施設	
名称	延床面積(㎡)
-	-

臨港交通施設	
名称	総延長(m)
臨港道路 (津港区)	2,993
臨港道路 (松阪港区)	3,819
計	6,812
新交通・鉄道	-
ヘリポート	26,000㎡

4. コンテナターミナルの概要

該当なし

5. マリーナ

区分 名称など	施設規模			収容能力				上下架施設 (能力、基数)	泊地水深 (m)	開設年度	関連施設
	陸域 (㎡)	水域 (㎡)	防波堤 延長 (m)	合計 (隻分)	陸上保管		水面保管				
					ボート ヤード (隻分)	艇庫 (隻分)	浮桟橋 (隻分)				
⑤三重県津ヨット ハーバー 〒514-0812 津市 大字津興中道北宮 370 ☎059-226-0525	33,000	32,000	北防波堤 61 南防波堤 343 中防波堤 200	583	583		- (一時 仮置 163m × 2基)	-	クレーン 5t 1基 2.8t 1基 フォーク リフト 2t 1基 1.5t 1基	昭和46 年4月	駐車場 クラブハウス マリンショップ 宿泊施設

6. 緑地

区分 名称	面積(㎡) (植栽率-%)	水際線延長 (m)	緑地タイプ	竣工年度	施設	
					利用施設	附属施設
栗真環境公園	18,671 (50)	590	休息緑地	昭和60年度	野球場 休憩場	遊歩道、池、護岸
津ヨットハーバー 三角公園	1,216 (100)	0	道路沿緑地	昭和47年度		
阿漕蒲海浜公園	10,124 (68)	250	親水緑地	昭和51年度	交通教育施設	遊歩道、噴水、護岸 暗渠
雲出緑地公園	1,000 (10)	0	休息緑地	平成7年度	水飲、東屋	

7. 基地港湾

該当なし

8. ポートサービス

該当なし

9. 関係出先官公署

名称	所在地	電話番号
津建設事務所	〒514-0003 津市桜橋3-446-34	059-223-5203
津市都市計画部交通政策課	〒514-8511 津市西の丸内23-1	059-229-3289
四日市海上保安部	〒510-0051 四日市市千歳町5-1	059-357-0118
鳥羽海上保安部	〒517-0011 鳥羽市鳥羽1-2383-28	0599-25-0118
松阪市都市整備部土木課管理・事業調整室	〒515-0073 松阪市殿町1340-1	0598-53-4141
松阪建設事務所	〒515-0011 松阪市高町138	0598-50-0586
津松阪港管理分所	〒515-0001 松阪市大口町1408	0598-51-3644

津松阪港

